

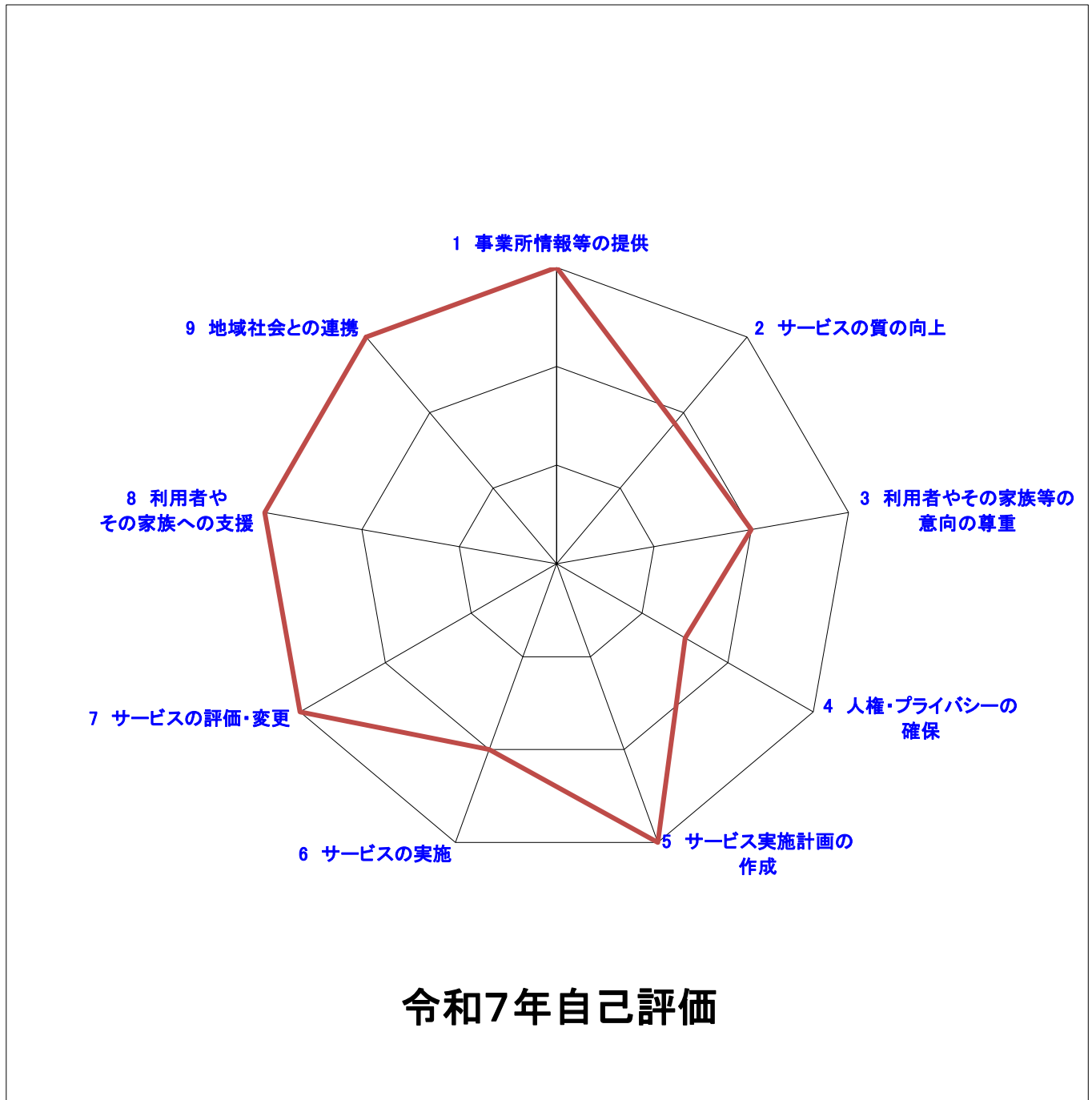


ケアプランかつた

(事業者番号: 1272604040 )

居宅介護支援

|  |
|--|
| 事業者名<br>ラ・グリシーヌ合同会社  |
| 事業所名<br>ケアプランかつた   |
| サービス名<br>居宅介護支援  |
| 評価委員構成<br>管理者(兼 介護支援専門員):1名<br>「当事業所は管理者1名の体制であるため、管理者(介護支援専門員)による自己点検・自己評価を実施。」<br>管理者兼介護支援専門員 藤波京子 |
| 評価手順<br>「日本介護支援専門員協会発行の自己評価シートに基づき、管理者自らが評価を実施。」   |
| 自己評価年月日<br>令和8年3月2日  |
| 評価責任者 役職名<br>代表社員  |
| 評価責任者 氏名<br>藤波京子   |



| 事業所の運営  |   |   |   |
|---|---|---|---|
| <b>1 事業所に関する情報等の提供</b>  |   |   |   |
| 事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。  | A | B | C |
| 事業所が行っているサービスの情報を積極的に提供している。  | A | B | C |
| 「事業所に関する情報等の提供」に関する特記<br>一人事業所の特性を活かし、管理者の顔が見える情報提供を重視している。運営規定に基づいた基本方針を事業所内に掲示するとともに、緊急時の連絡体制や24時間連絡がつく体制であることを明確に伝え、利用者の安心感に繋げている。                       |   |   |   |
| <b>2 サービスの質の向上</b>  |   |   |   |
| サービスの質の向上を目的とした検討体制を整備している。   | A | B | C |
| サービスの質の向上への取組に職員が参加している。  | A | B | C |
| サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている。   | A | B | C |
| サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている。  | A | B | C |
| 職員の資質向上に向けた体制を整備している。   | A | B | C |
| 職員の研修機会を確保している。   | A | B | C |
| 職員に対するスーパービジョン(指導・助言)体制を整備している。   | A | B | C |
| 「サービスの質の向上」に関する特記<br>ひとり事業所のため内部委員会は設置は困難であるが、地域包括支援センター主催の事例検討会や、職能団体の研修会に定期的に参加している。一人事業所として永続的な支援を提供するため、今後は業務効率化やBCP(業務継続計画)の策定を通じ、年次ごとの運営目標を具体化させていく方針 |   |   |   |

| 利用者の尊重・保護  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <b>3 利用者やその家族等の意向の尊重</b>   |   |   |   |
| サービス内容の決定において利用者やその家族等の意向を尊重している。  | A | B | C |
| 利用者やその家族等からの不満や不服を解決するための取組を行っている。   | A | B | C |
| 「利用者やその家族等の意向の尊重」に関する特記  |   |   |   |
|  |   |   |   |
| <b>4 人権・プライバシーの確保</b>  |   |   |   |
| 人権やプライバシー確保に配慮している。  | A | B | C |
| 個人情報の保護を徹底している。  | A | B | C |
| 「人権・プライバシーの確保」に関する特記   |   |   |   |
| 重要事項説明書にて個人情報保護や苦情相談窓口の周知は徹底しているが、体系的な『人権・プライバシー保護マニュアル』は現在策定中である。年度内には完成させ、業務の標準化を図る。           |   |   |   |
| <b>サービス実施過程の確立</b>   |   |   |   |
| <b>5 サービス実施計画の作成</b>   |   |   |   |
| 利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している。   | A | B | C |
| 「サービス実施計画の作成」に関する特記  |   |   |   |
| サービス担当者会議を通じてチーム全体で目標を共有している。  |   |   |   |
| <b>6 サービスの実施</b>   |   |   |   |
| サービスの標準的な実施方法を定めている。   | A | B | C |
| 利用者の状況などに関する情報を職員が共有している。  | A | B | C |
| 「サービスの実施」に関する特記  |   |   |   |
| 受付からモニタリングに至る一連の業務標準マニュアルを策定した。現在はその運用を開始した段階であるため、次年度末を目途に、実務との乖離がないか検証・見直しを行う体制を整えていく          |   |   |   |
| <b>7 サービスの評価・変更</b>  |   |   |   |
| サービス実施に関する評価を行っている。  | A | B | C |
| サービス実施計画の見直しを行っている。  | A | B | C |
| 「サービスの評価・変更」に関する特記   |   |   |   |
| 変更の必要性・理由・手順については、その都度利用者や家族へ分かりやすく説明し、同意を得ることを徹底している。   |   |   |   |
| <b>サービスの適切な実施</b>  |   |   |   |
| <b>8 利用者やその家族等への支援</b>   |   |   |   |
| サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている。  | A | B | C |
| 利用者やその家族等からの相談に積極的に対応している。   | A | B | C |
| 利用者の状況を利用者の家族等へ情報提供している。   | A | B | C |
| 「利用者やその家族への支援」に関する特記   |   |   |   |
| 介護保険サービスのみならず、経済的な困窮や家族の介護疲れ等の相談に対しても、地域包括支援センターや行政窓口、社会福祉協議会等と連携し、適切な支援機関への『取り次ぎ』や情報提供を迅速に行っている |   |   |   |

## 地域等との連携

### 9 地域社会との連携

事業所の役割を果たすために必要な地域の関係諸機関・団体と連携している。

A

B

C

「地域社会との連携」に関する特記

事例検討会等の参加に努めている。また、主治医に対してはモニタリング結果を定期的に報告し、医療・介護の密接な連携を図っている。

#### 総評

本年度は一人ケアマネ事業所として、利用者一人ひとりに寄り添った迅速かつ丁寧なケアマネジメントの提供に注力した。一方で、一人事業所ゆえに組織的なマニュアル整備や中長期計画の策定が遅れている点が課題として明確になった。人材確保が極めて困難な状況にあるが、だからこそ一人ひとりの利用者に対する支援の質を落とさぬよう今後も地域に根ざした事業所として、持続可能な運営体制の構築を模索していきたい。」